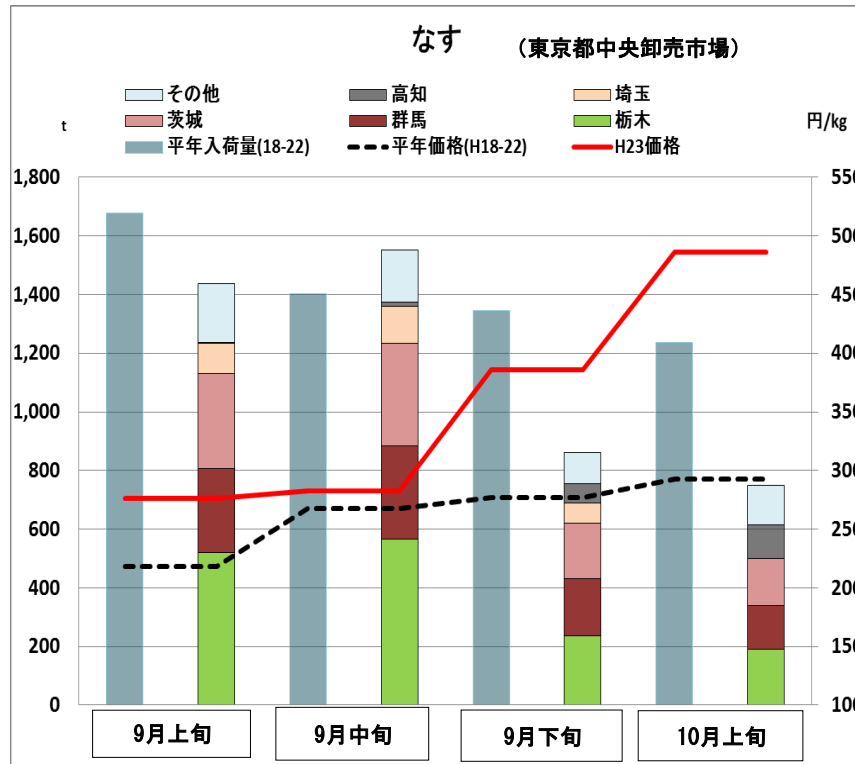


なすの価格動向について

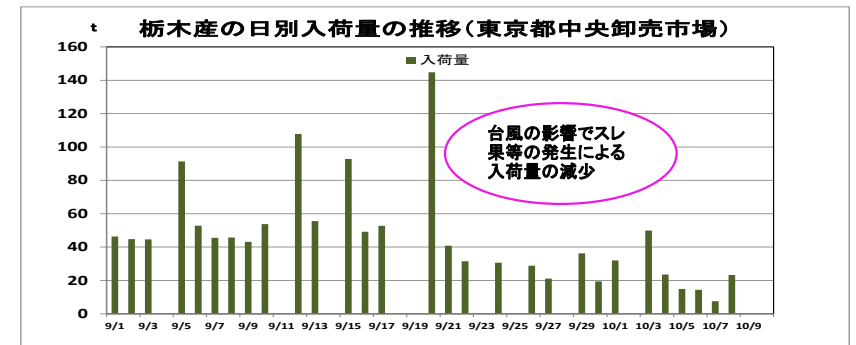
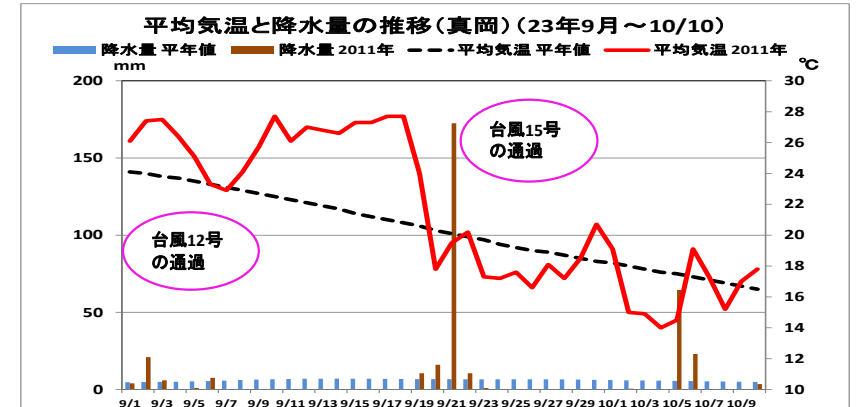
なすは、9月下旬より価格が高騰しはじめ、今も高い状態が続いている。
これは、この時期の主産地である栃木産（露地もの）が
① 9月上旬の台風12号と中旬から下旬の台風15号の影響により、実が割れるスレ果等が発生し正品率が減少したこと、
② 台風15号の通過とともに気温が低下し生育が遅れが発生していること
等により、出荷量が減少していることによる。
今後は、後続産地である高知産が、台風の影響もなく生育が順調であることから、下旬にかけて出荷量の増加が見込まれ、高めに推移している価格は、平年並みに落ち着いてくるものと思われる。

なすの入荷量と価格の推移（9月上旬～10月上旬）



資料：青果物情報センター

産地の気象（真岡）と栃木産の入荷量の推移



資料：ベジ探（原資料）気象庁「統計データ」、農水省「青果物日別取扱高統計結果」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジヤス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yaiukyu01_000076.html